



Special Guest

アルミカン



プロマジシャンのマジックショーモ!

兵庫県保険医協会神戸支部

共催：保険医共済会



CHRISTMAS



全支部の皆様にご参加いただけます！
ご家族・職員の方も大歓迎！！

クリスマスパーティ PARTY

司会はアナウンサーの田村正浩さん！

神戸支部では今年の締めくりにSPECIALなクリスマス企画しました！
プロマジシャンによるマジック、神戸出身「アルミカン」によるステージ、豪華景品が当たるビンゴゲームなど盛りだくさん！！ご家族・ご友人お誘いあわせて、ご参加ください♪

ベルクラシック神戸
〒651-0083 中央区浜辺通3-3-1,三宮駅より徒歩約10分、ポートライナー「貿易センタービル」駅より東へ徒歩約1分。駐車場無料100台完備、078-232-3390
参加費：8000円
(小学生4000円、就学前児無料)
(パーティメニューbuffet、飲み放題)

12/7(土)
18:00 ~ 20:00

お問い合わせは、☎078-393-1807
事務局・小西、呉(ゴ)まで

-----申込FAX: 078-393-1820 (11/28締切)-----

★神戸支部クリスマスパーティに()人参加します★

地区()医療機関名()

代表者お名前()電話番号()

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

381号

2024年11月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部第45回総会を開催

心不全パンデミック時代の 高血圧治療を考える

佐和琢磨先生が記念講演



佐和先生(左上)が血圧を下げるためのポイントを解説

神戸支部は10月19日、神戸支部第45回総会を協会会議室で開催。2023年度活動報告と2024年度活動方針案を承認し、田中孝明支部長ら支部役員を選出した。

記念講演は、「心不全パンデミック時代の高血圧治療を考える」をテーマに、みきやまリハビリテーション病院循環器内科部長の佐和琢磨先生が講演し、22人が参加した。

(2面に24年度活動方針と支部役員一覧、次号に参加者の感想文を掲載予定)

兵庫県保険医協会神戸支部 2024 年度活動方針

- 1、企画の性格に応じてオンライン配信も活用しながら、学術研究会、医院経営研究会など会員の要求にそった研究会、事務講習会や接遇研修会など職員対象の研修会の開催に努める。
- 2、新規開業医交流会の開催などを通じ、新規開業医を中心に未入会者への案内を強め組織強化に努める。クリスマスパーティ等の会員・家族の懇親を深める企画を実施する。また、病院訪問を積極的に行い病院・勤務医の協会活動への参加をすすめる。
- 3、支部活動の活性化をはかり、幹事会への参加を広げる取り組みを強める。
- 4、健康と医療について語り合う会への講師派遣などに積極的に協力する。
- 5、支部ニュースは、インタビューや投稿など会員を主体とした記事作りをすすめ、定期発行に努める。
- 6、震災復興対策では、震災復興長田の会など地域の運動に参加し共同をすすめる。
- 7、各区の社保協など、医療や福祉で共闘する団体への参加協力をすすめる。
- 8、地域の新型コロナウイルス感染症対策や病院の統廃合問題、国保、介護保険など地域医療にかかわる重要な問題では、情報収集や行政への働きかけなどをすすめる。
- 9、神戸市政問題での運動に参加、協力する。「神戸・市民要求を実現する会」「市民目線で神戸市政を考える懇談会」に参加し、神戸市に対する要求実現運動での共同に努める。
- 10、政策部と協力し、医療ツーリズムを含む神戸医療産業都市構想・医療特区問題などに取り組む。

第45回総会で選出された支部役員一覧(任期:2024年10月～2026年9月)

- 支部長** 田中 孝明(長田区)
副支部長 武村 義人(中央区)
副支部長 小西 達也(中央区)
副支部長 鈴田 明彦(灘区)
支部幹事
 (東灘区) 口分田 真・村上 正治・伊賀 文彦・森岡 芳雄・川西 敏雄
 (灘区) 椿田 重彦・小谷 圭
 (中央区) 郷地 秀夫・林 重伸・加茂 統良・武富 雅則・林 宏明
 辛 龍文
 (兵庫区) 吉川 信嘉
 (北区) 大石麻利子
 (長田区) 上田 耕蔵・江原 重幸
 (須磨区) 近重 民雄・加藤 擁一
 (垂水区) 高橋知三郎・宮武 博明・佐々木 徹
 (西区) 上山 幸治・柏木 一英
顧問
 (灘区) 落合 愛子

接遇研修会で寄せられた質問に対する水原道子先生からのアドバイス(下)

9月28日に開催した職員接遇研修会の参加者からアンケートで講師に寄せられた質問について、講師の水原道子先生にいただいた回答を前号につづき、紹介する。

4.「長期入院の患者さんやご家族と馴れ合いになってしまう」、「勤務の長い職員ほど言葉が悪く、揉める原因となっている」

ご質問に対応できることかどうかわかりかねますが、一案として…。

「馴れ合い」とは、敬意と礼儀を欠いた会話や行動となり、人柄や仕事の品位と能力を下げてしまいます。

一方、「親しさ」とは、心とお互いの立場の近さが感じられる節度ある話し方や接し方から生まれます。ここには優しさや明るさが感じられます。

この似て非なる「親しさ」と「馴れ合い」の区別をするには、自分の立場と仕事をしっかりと見つめ直す必要があります。

そのためには、職場として新しい風(人材)・組織を組み入れ、管理部門も含めた職場全体での緊張感のある意識改革が必要だと思います。

具体的には、話し方やボディタッチを含めたコミュニケーションの取り方に関する外部による実践的演習を積み重ねていくことをお勧めします。

外部の者が言えることではありませんが、周辺医療機関より良い待遇で職員のモチベーションを上げることも並行して必要ではないでしょうか。そこに職場全体の緊張感や向上心も生まれると思います。

神戸支部ニュースへの投稿を募集しています

ご投稿は
TEL078-393-1807 / FAX078-393-1820
e-mail konishi-s@doc-net.ne.jp へお寄せください!



支部ニュースへの投稿を募集しています。
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。